

## 第9章 純損益の処理

### 学習の要点

1. 損益勘定で計算された純損益は、株式会社ではつぎのように処理します。
  - (1) 当期純利益 ⇒ 未処分益勘定の貸方へ振り替えます。
  - (2) 当座純損失 ⇒ 未処理損失勘定の借方へ振り替えます。
2. 未処分利益は、その処分案が株主総会で承認されたら、つぎの諸勘定に振り替えます。残高（繰越利益）は次期に繰り越します。なお、繰越利益の処理には、2つの方法があります。

- ① 繰越利益を未処分利益勘定に残す方法
- ② 繰越利益を利益処分時に繰越利益勘定に振り替えて、決算日に再び未処分利益勘定に戻す方法

未処分利益	×××	株主配当金	×××
		利益準備金	×××
		役員賞与金	×××
		任意積立金	×××
		(繰越利益)	×××

- 株主配当金 ⇒ 株主に対する利益の分配額です。
- 利益準備金 ⇒ 株式会社が商法の規定により資本金の1/4に達するまで、毎決算期に金銭による利益配当額の1/10以上を、また会計年度を1年とする会社が金銭による中間配当をおこなう場合に、その分配額の1/10を積み立てるものとする。
- 役員賞与金 ⇒ 取締役・監査役などの会社役員に対する利益の分配額です。
- 任意積立金 ⇒ 会社の定款や株主総会の決議によって、利益の一部を積み立てたものです。配当平均積立金・新築積立金・別途積立金などがあります。

3. 未処理損失は、その処理が株主総会で決定されます。損失はつぎの順序でてん補します。

繰越利益 → 任意積立金 → 利益準備金 → 資本準備金

てん補しきれない損失金は、次期に繰り越します。

なお、繰越損失の処理には、2つの方法があります。

- ① 繰越損失を未処理損失にのこす方法
- ② 繰越損失を損失処理時に繰越損失勘定に振り替えて、決算日に再び未処理損失勘定に戻す方法

4. 資本金を減少して（額面の切下げ・株式の合併による）損失金をてん補する場合があります。

このとき減少した資本金の金額が欠損てん補金額より多いときは、これを減資差益といいます。

資本金	×××	未処理損失	×××
		減資産益	×××

問題23 ● [純損益の処理]

1. 東海機器株式会社（資本金¥30,000,000、1株の額面金額¥50,000、決算年1回）について仕訳を示しましょう。

(1) 未処分利益勘定で処理する方法

① 1年3/31 決算にあたり当期純利益¥4,500,000を計上した。なお、未処分利益勘定残高が¥500,000ある。

② 1年6/30 株式総会において次の利益処分案が承認された。

● 当期末処分利益……（各自で計算）

- |     |   |  |
|-----|---|--|
| 処分額 | { | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 利益準備金……商法が規定する最低限度額</li> <li>● 株主配当金……1株につき、¥4,000（全額現金配当）</li> <li>● 役員賞与金……¥1,300,000</li> <li>● 別途積立金……¥1,000,000</li> </ul> |
|-----|---|--|

③ 1年7/10 上記、株主配当金、役員賞与金を小切手で支払った。

④ 2年3/31 決算にあたり当期純利益¥2,600,000を計上した。

⑤ 2年6/30 株主総会において次の利益処分案が承認された。

● 当期末処分利益……（各自で計算）

- |     |   |   |
|-----|---|---|
| 処分額 | { | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 利益準備金……商法が規定する最低限度額</li> <li>● 株主配当金……1株につき、¥2,000（全額現金配当）</li> <li>● 役員賞与金……¥1,000,000</li> </ul> |
|-----|---|---|

①		
(1)	当期末処分利益……（                          ）	
②		
③		
④		
⑤	当期末処分利益……（                          ）	

# ● 演習コーナー ●

## 問題23 ●

(2) 繰越利益勘定で処理する方法

なお、繰越利益勘定残高が¥500,000ある。

(2)	①		
	②		
	③		
	④		
	⑤		

メモ

# 演習コーナー

## 問題23

2. 次の取引を仕訳しましょう。

- (1) 本日決算の結果、当期純損失¥5,000,000を計上した。なお、繰越利益勘定の残高が¥2,000,000ある。
- (2) 本日株主総会の決議により、(1)の純損失について、次のとおり処分することに決定した。  
任意積立金¥1,500,000と利益準備金¥1,000,000をもっててん補し残額は繰り越す。

(1)		
(2)		

3. 次の取引を仕訳しましょう。

- (1) 第5期決算にあたり、当期純損失¥1,200,000を生じた。未処分利益勘定残高が¥120,000ある。
- (2) 株主総会において、繰越利益をもっててん補しきれない損失は、任意積立金¥500,000、利益準備金¥300,000をもっててん補し、残高は繰り越すこととした。
- (3) 第6期決算の結果、当期純利益¥850,000を生じた。

(1)		
(2)		
(3)		

メモ

問題23の1の正解

(1)	①	損 益 4,500,000	未 処 分 利 益 4,500,000
	②	当 期 未 処 分 利 益……………( 5,000,000 )	
		未 処 分 利 益 4,940,000	利 益 準 備 金 240,000 株 主 配 当 金 2,400,000 役 員 賞 与 金 1,300,000 別 途 積 立 金 1,000,000
	③	株 主 配 当 金 2,400,000 役 員 賞 与 金 1,300,000	当 座 預 金 3,700,000
	④	損 益 2,600,000	未 処 分 利 益 2,600,000
⑤	当 期 未 処 分 利 益……………( 2,660,000 )		
	未 処 分 利 益 2,320,000	利 益 準 備 金 120,000 株 主 配 当 金 1,200,000 役 員 賞 与 金 1,000,000	

(2)	①	損 益 4,500,000 繰 越 利 益 500,000	未 処 分 利 益 5,000,000
	②	未 処 分 利 益 5,000,000	利 益 準 備 金 240,000 株 主 配 当 金 2,400,000 役 員 賞 与 金 1,300,000 別 途 積 立 金 1,000,000 繰 越 利 益 60,000
		株 主 配 当 金 2,500,000 役 員 賞 与 金 1,300,000	当 座 預 金 3,700,000
	④	損 益 2,600,000 繰 越 利 益 60,000	未 処 分 利 益 2,660,000
	⑤	未 処 分 利 益 2,660,000	利 益 準 備 金 120,000 株 主 配 当 金 1,200,000 役 員 賞 与 金 1,000,000 繰 越 利 益 340,000

問題23の2の正解

(1)	未処理損失 繰越利益	3,000,000 2,000,000	損益	5,000,000
(2)	任意積立金 利益準備金 繰越損失	1,500,000 1,000,000 500,000	未処理損失	3,000,000

問題23の3の正解

(1)	未処理損失 未処理利益	1,080,000 120,000	損益	1,200,000
(2)	任意積立金 利益準備金	500,000 300,000	未処理損失	800,000
(3)	損益	850,000	未処分利益 未処理損失	570,000 280,000